

教科名：国語

【 2年 文学国語 】 ルーブリック評価表

観 点	内容のまとめ	評価基準	評価基準			評価方法
			A	B	C	
知識・技能	言葉の特徴や使い方に関する事項 我が国の言語文化に関する事項	様々な文章にふれながら、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	語彙が豊富で、文体の特徴や表現技法について深く理解し、テキストの内容理解や発表、成果物に効果的に生かしている。個々の作品や文章の背景にある言語文化や歴史にも目を向け、テキストを深く理解している。	多くの語彙を身につけ、文体の特徴や表現技法について理解し、テキストの内容理解や発表、成果物に生かしている。個々の作品や文章の背景にある言語文化や歴史にも目を向けている。	語彙やテキストの理解が不足し、発表、成果物に十分に生かすことができていない。 個々の作品や文章の背景にある言語文化や歴史に目を向けられていない。	小テスト 定期考査 提出物
思考・判断・表現	A 書くこと B 読むこと	読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	書くべき文章の種類に応じて、構成や展開を工夫し、多様な表現技法や修辞を元にして、読み手を引き付ける独創的な文章を書くことができる。 作品の内容や構成、展開、描写の仕方、文体の特徴などを的確に捉えている。テキストを他の作品や自分の経験と比較したり関連付けたりすることで、自分なりの意味を解釈の多様性について考察し、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。	書くべき文章の種類に応じて、構成や展開を工夫し、理解した表現技法や修辞を用いて文章を書くことができる。 作品の内容や構成、展開、描写の仕方、文体の特徴などを捉えている。テキストを他の作品や自分の経験と比較したり関連付けたりすることで、解釈の多様性について考察している。	表現技法や修辞の理解が不十分で、文章を書く際に生かすことができない。 作品の内容や構成、展開、描写の仕方、文体の特徴などを捉えきれしていない。 テキストを他の作品や自分の経験と比較したり関連付けたりすることができない。	定期考査 提出物
主体的に学習に取り組む態度	読書に親しみ、自己の世界を広げる 言葉を通して他者、社会に関わる	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 自己評価、相互評価を適切に行い、自他の取り組みや能力の質を高めようとしている。	自分の読書レベルを的確に把握し、すぐれた選書能力を発揮して読書に親しんでいる。 言葉がもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 自己評価の仕方と、それを踏まえた自己修正・自己改善力を身につけている。他者に対して有益なフィードバックを送ることができる。	自分の読書レベルを把握し、読書に親しんでいる。 言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 自己評価を元に、自己の改善に生かそうとしている。他者に対してフィードバックを送ることができる。	自分の読書レベルを把握できていない。 言語感覚を磨いたり、言葉を効果的に使おうとしたりする姿勢が不十分である。 自己評価ができない。自己評価を元にした自己改善ができていない。	提出物、成果物